

# 高島公民館だより

2024年 3月号 2024.2.20 (文責：高木)

高島公民館  
(アイリッシュパーク内)

〒520-1121

高島市勝野670

TEL 36-0219

FAX 36-1909

t-kominkan@city.takashima.lg.jp

## 情熱を注ぐ！ 2024年度高島公民館教室・講座に向けて

高島公民館では、次年度の教室・講座の開講に向けて準備を進めています。4月当初には高島市内各公民館の教室・講座のパンフレットを掲示する予定です。次年度の新しい企画として「生かそう ことば力 話し方講座」を開設予定です。2月7日に講師を依頼している臼坂登世美氏と打ち合わせをしてきました。臼坂氏は元日本短波放送のアナウンサーであり、びわ湖放送等でテレビレポーターの経験があります。現在では、合唱の指導とともにサークルを立ち上げ合唱と読み聞かせを融合させて施設の訪問等でボランティアもされています。お目にかかって、このような公民館教室・講座が今までなかったのも、講師の臼坂氏自身が大変期待をされていることや、話し方の技術もさることながら、自分の思いを相手にどう伝えるのかその思いの強さ、心意気の大切さ等を切々と述べられ、私たち高島公民館職員は圧倒されました。

私がいつも録音をして聞いているラジオの朗読劇があります。エフエム滋賀 (e-radio) 毎週月曜日 AM5:00~5:30・再放送土曜日 AM11:30~12:00 で「SoundLibrary~世界でひとつだけの本~」という番組が放送されています。心に染み入る番組です。(スマートフォンやアプリ・パソコンでラジオが聴ける radiko という無料サービスがあります。1週間以内に放送された番組が聴けるタイムフリー機能もあり便利です。) ナビゲーターは女優の木村多江さん。一人で何役もこなして朗読をされます。ある時、木村多江さんが、この番組で大切にされていることをインタビューで聞くことができました。「朗読で何役もするとき、声色を変えて朗読をするのではなく、その人物の人柄、性格になりきって話をしています」とのこと。心に染み入るのはこのことであると納得し、こちらにメッセージが届くのだと思いました。新年度の高島公民館講座でお世話になる臼坂氏の思いに共通するところがあると感じました。高島公民館教室・講座の新企画に市民の皆さまが応募していただくことを楽しみにしています。

## 2023年度高島地域人権学習会(2月23日開催)の準備から

本年度の高島地域人権学習会は「世界がもし100人の村だったら」と題して小学校4年生~6年生・中学生そして地域の大人の方を交えて開催します。講師でファシリテーターを務めてくださるのは、三矢艶子さんと大杉千晶さんです。1月から何度も打ち合わせをし、このワークショップの企画が参加して下さる方に心に残るものにしてもらおうと綿密な計画を立て、当日のシナリオや教材を準備して臨んでくださっています。「実施するならいいものにしたい」という情熱をもってくださいているので、高島地域人権教育推進協議会の事務局は圧倒されっぱなしです。事務局としては、わかりやすい資料提示や教材の作成に協力をしているところです。人権学習会当日は講師の熱意が参加者の皆さまに伝わるようにと願うばかりです。



人権学習会の準備(2月15日)

2月6日にボストン交響楽団やウィーン国立歌劇場で音楽監督を務められた世界的な名指揮者の小澤征爾氏のご逝去されました。国内においても長野県や水戸市等地方での音楽文化振興にも寄与された方でした。クラシック音楽に携わりながら、常に新しいものに挑戦する姿は見るものを引き付けずにはいられません。スキーが趣味で奥志賀高原に別荘をもっておられ、志賀高原スキー場開きでゲスト滑走者を務められたこともあります。その奥志賀に小澤氏のコンセプトで「森の音楽堂」ができ、毎年若手の室内楽演奏家を育成する「小澤国際室内楽アカデミー奥志賀」を開催されています。また志賀高原地元の山ノ内中学校と音楽を通して(小澤氏のオーケストラと中学生の合唱とのコラボ等)交流を続けてこられました。

私は大学卒業後に友人とスキーで訪れた赤倉温泉(新潟県妙高市)の旅館の食堂で、たまたま小澤征爾氏の一家がとなりにおられました。夫人とともに征悦さん(現：俳優)、征良さん(現：エッセイスト)が、まだ小学校の低学年ぐらいであったと思います。「世界的な指揮者にお目にかかることができ、光栄です」とあいさつをただけでしたが、気軽に握手をしてくださいました。今となってはサインをいただければよかったと悔やんでいます。

小澤氏は齋藤秀雄氏(故人)を恩師と慕う演奏家を集め、恩師を偲んでサイトウキネンオーケストラ

を年に一度だけ組織し、欧米等世界で演奏するとともに長野県松本市でサイトウキネンフェスティバル（現：セイジオザワ松本フェスティバル）を続けてこられました。演奏活動だけでなく青少年のオペラを組織したり、指揮者を指導したりと若手の育成に情熱を注いで来られました。2013年に闘病を克服して臨まれたフェスティバルの取組が「小澤征爾 復帰の夏」と題してNHKBSで放映されました。それを視聴して、小澤氏の情熱に圧倒されました。特に圧巻であったのが、ジャズピアニスト大西順子氏とのコラボでした。ジョージ・ガーシュウインの「ラプソディー・イン・ブルー」をオーケストラと大西氏が共演され、小澤氏がタクトを振られました。小澤氏と大西氏を結びつけたのが作家の村上春樹氏だったそうです。視野を広げて新しいことに挑戦する小澤氏の姿は目に焼き付いて離れません。

高島公民館におきましても公民館教室・講座、人権学習の取組など前年度のものを踏襲するだけでなく、新しいものにも挑戦をしていきたいと考えております。どうぞ支援ご協力をお願いいたします。

## スポーツ少年団スキー教室 2月17日（箱館山）

暖冬の影響で積雪が十分とは言えませんでした。好天のもとスキーを通して団員の交流とスキー技術の向上をめざして実施することができました。6名の指導者のもと14名の子どもたちが参加してスキーの楽しさを味わいました。数時間の経験ではありましたが、一日でとても上手になりました。雪の多い高島の地の利を生かしたスポーツを生涯にわたって続けてほしいと願うばかりです。

箱館山カフェレストラン LAMP の前で→



### 高島公民館 3月の予定表

1	金	アイリッシュパーク第2回消防訓練
2	土	
3	日	
4	月	休館日（図書室休み）
5	火	（図書室休み）
6	水	高島青少年育成学区民会議常任委員会
7	木	高島地域スポーツ振興会役員会
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	休館日（図書室休み）
12	火	（図書室休み） 子ども書道（硬筆・毛筆）教室⑩
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	おはなし会10:30~11:00（和室）
17	日	
18	月	休館日（図書室休み）
19	火	（図書室休み）
20	水	春分の日
21	木	休館日（図書室休み）
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	休館日（図書室休み）
26	火	（図書室休み）
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

### 【高島図書室から】 ☎ 36-2160

ようやくあたたかな春の気配！心もはずむ3月がやってきました。

さて今回は、新しく買った本の中からこの2冊を紹介します。



#### 『ホットプレートと震度四』 井上 荒野／著 淡交社

タイトルにもあるホットプレートやコーヒーマシン、アクリルたわし。これらは、どこの家にも一つはあるのではないのでしょうか。ピザカッターやゼリー型、鉄鍋などはあつたりなかつたりするかもしれませんね。

この本は、そんな『食にまつわる道具』をめぐる、さまざまな心模様を描いた短編集です。先にあげた道具はすべて、この本の中に登場したものです。

子離れの時期が来たことを知る母親、小さな冒険に出かけた幼い子ども、クリスマスの恋の思い出など、色々な道具と人の物語が詰まった1冊です。まずは、気になる道具の物語から読んでみてはいかがでしょうか？

#### 『メンタル脳』 アンデシュ・ハンセン／著 新潮社

これほど快適な暮らしができるようになったのに、なぜ精神状態を悪くしている人が多いのだろう。

——精神科医としてずっと考えてきた、と著者のハンセンさんは語ります。

うつや不安、孤独などに心を蝕まれる人は多く、現代人のメンタルはかつてなく悪いのだとか。そんな心の問題はどうか世界共通のようです。

『なぜ不安を感じるのか』『なぜ孤独とSNSがメンタルを下げるのか』など、脳科学を元にとってもわかりやすく説明されています。

心に疲れを感じている人も、そうでない人もぜひ一度目を通してみてください。

紹介した本以外にも新しい本が入っています。図書室の新刊の棚もぜひご覧ください。